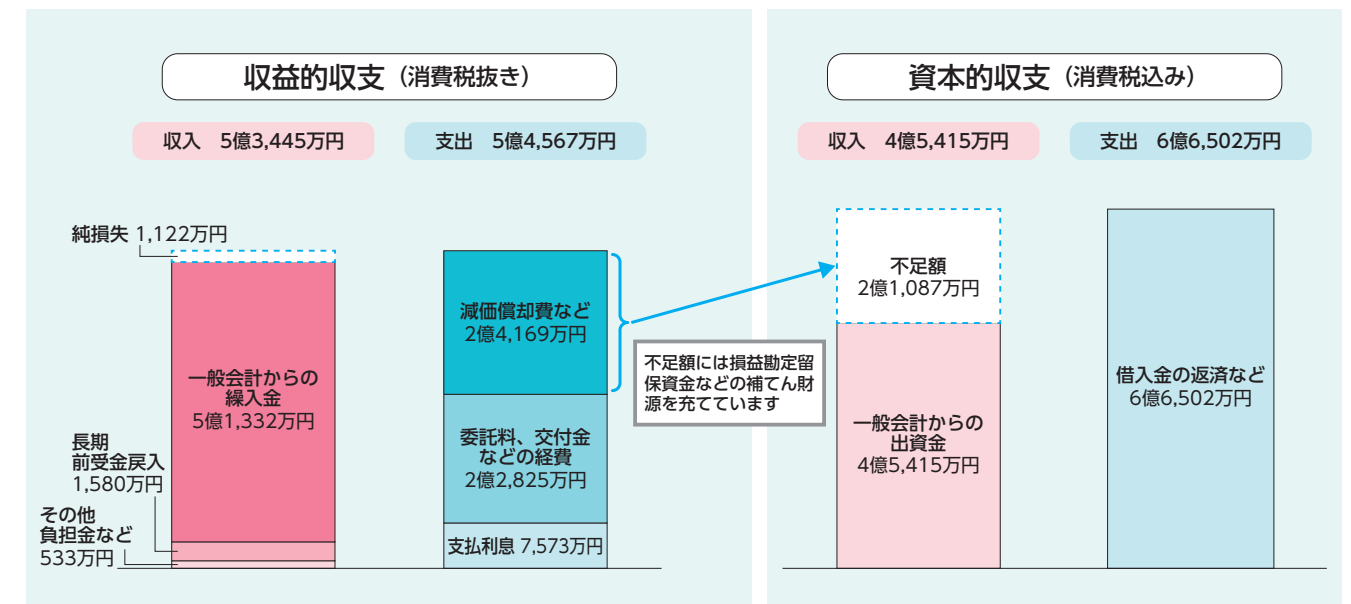


病院事業

公立刈田総合病院は、令和5年度より指定管理者制度の下で、公設民営により運営されています。本市の病院事業会計では、一般会計からの繰入金を主な財源として、指定管理者への委託料や交付金の支払い、病院建設時の借入金の返済などを行っています。また、病院建設から20年以上が経過しており、建物・設備の修繕や更新を行っています。

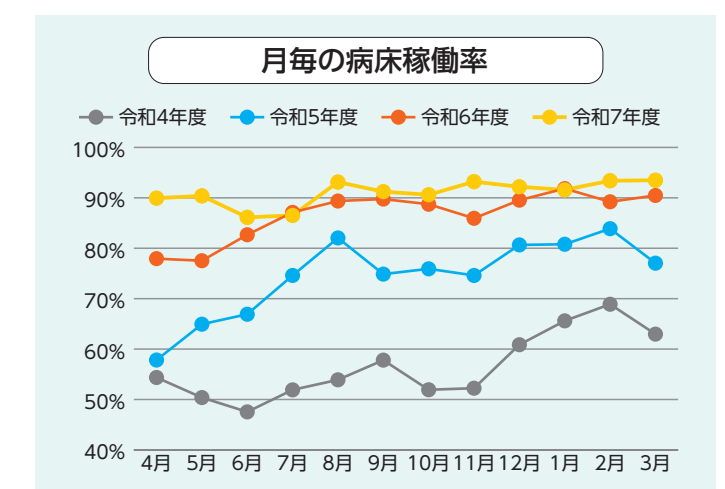
○令和7年度病院事業会計決算の収支状況

収益的収支については、収支差し引きで1,122万円の純損失を計上しました。また、資本的収支では、一般会計からの出資金により病院建設時などの借入金の返済を行っており、資本的支出に対し資本的収入が不足する額については、損益勘定留保資金などの補てん財源で賄っています。



○令和7年度の運営状況

公立刈田総合病院では「断らない医療」をモットーに掲げ、救急の受け入れを積極的に行った結果、令和7年度の救急車の受け入れ件数が年間1,120件となり、指定管理者制度導入前の令和4年度と比較して約2倍の受け入れ件数となりました。このほか、令和7年度はリハビリスタッフの増員や、休床していた病床のうち9床を再開するなどの取り組みにより、入院患者数や病床稼働率が、令和4年度と比較して大幅に増加しています。現在、199床の許可病床のうち161床が稼働し、今後も積極的な患者の受け入れや医療スタッフの確保、効率的・効果的な病床管理を進めながら、休床中の病床再開に向けた取り組みを継続していくこととしています。



項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
稼働病床数	161床	152床	152床	152床
平均病床稼働率	90.95%	86.68%	74.53%	56.47%
1日平均入院患者数	145.1人	131.8人	113.3人	85.8人

第40回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月13日、「第40回しろいし蔵王高原マラソン大会」が南蔵王野営場を発着点とするコースで開催されました。今大会は第40回を記念し、陸上インフルエンスの志村美希さんをゲストランナーに招待。全国各地から参加したランナーたちと快走しました。大会前日、志村さんのランニングクリニックを中央公民館で開催し、49人が参加。志村さんから、走るときの姿勢やモチベーションの保ち方など実践を交えて指導をしていただき、参加者たちは熱心に聞き入っていました。大会当日は、時折雨が降るコンディションの中、全国屈指のアップダウンと言われる最大傾斜が10・5%の「激坂」に、1,149人のランナーが挑戦！3km小学生男子（4年生以下）と5km60歳以上男子の2種目で大会新記録が樹立されました。

全国屈指の「激坂」に1,149人が挑戦！

本市出場選手で 3位以上の入賞者（敬称略）

- 3km小学生男子（5・6年生）2位 佐藤七成
- 3km小学生男子（5・6年生）3位 後藤惇人
- 3km小学生女子（5・6年生）1位 村上織会
- 3km小学生女子（5・6年生）3位 永倉芽依
- 3km中学生女子 3位 大沼香澄
- 10km 40～49歳男子 1位 鈴木和義



本市出場選手で1位になったランナーたち。
10km 40～49歳の鈴木さん(写真左)、
3km小学生女子(5・6年生)の村上さん(写真右)



1・2・3・4 志村美希さんのランニングクリニックには、小学生から高校生までの児童・生徒が参加。第一線で培われた専門的で分かりやすい指導に汗を流すとともに、終了後には参加者と写真撮影などを行い交流を深めました

